平成２９年度　租税教育実践例（第６学年社会科）

登米市立浅水小学校
教　諭　佐藤　眞紀

１　単元名　　わたしたちの生活と政治
　　子育て支援の願いを実現する政治（税金の働き）

２　指導にあたって

（１）単元について

本単元は，学習指導要領の内容（２）ア「国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること」を受け，地方公共団体や国の政治が国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解させることをねらいとしている。

ここでは，子育て支援に関わる公共施設の建設を取り上げ，市民の要望を受けて公共施設の建設がどのようなプロセスで行われるのかや，その費用にはどのようなお金が使われているのかという観点から，政治について目を向けさせていきたい。そのために，児童にとってなじみの深い浅水ふれあいセンターを例に挙げながら，政治が自分たちにとって身近なものであることを実感させていく。さらに自分たちが学校で毎日のように使っている机や椅子などは税金で賄われていることにも触れ，税金にはどのようなものがあり，誰が納め，どのようなことに使われているのかについて理解させる。

これらの学習活動を通して政治が自分たちの生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解させていきたいと考える。

（２）児童の実態（男８名　女１３名　計２１名）

ほとんどの児童が，「税金」という言葉を知っており，知っている税金の種類として挙がったものは「消費税」が多かった。また，税金は「みんなのために使われるお金」という認識はもっており，税金が自分たちの暮らしのために使われているということは理解できている。しかし，必要なものだとは理解していても，実際の場面となると，「自分で払うお金は少しでも安い方がいい。」「なぜ消費税を払うのか。」という声も聞かれている。

このことから，自分たちの暮らしのために税金は必要だという理解をさらに深めさせるとともに，もし税金がなかったら自分たちの暮らしはどうなるのかということを考えさせ，税金について正しい知識を身に付けさせたい。

（３）指導の着眼

○税についての理解が一層深められるよう，佐沼税務署の方にゲストティーチャーとしておいでいただき，専門的な立場から税について指導していただく機会を設ける。

○税金がない生活を自分たちの日常生活に置き換えて実感させるためにＤＶＤを活用し，税金が自分たちの生活に大きく関わっていることを確認した上で，次単元「国民の三大義務（納税）」の学習へと関連付ける。

○税金に対する関心を高めるために，「税に関するパンフレット」を活用させたり，「税に関する標語」，「税に関する絵はがきコンクール」等への作品応募の機会を利用したりする。

３　単元の目標

○地方公共団体や国の政治の働きに関心をもち，国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが

反映していること，政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることが分かるとともに，我が国の政治の働きと国民生活との関わりを考えようとする。

○地方公共団体や国の政治の働きに関する社会的事象から学習問題を見いだし，公共施設を見学したり聞き取り調査をしたりするなどの学習計画を立てて，施設の利用者や市役所の担当者などの話，その他の資料を活用して調べたことをまとめるとともに，政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることについて思考・判断したことを適切に表現する。

4　単元の評価規準

○社会的事象への関心・意欲・態度

①子育て支援事業など，地方公共団体政治の働きに関心をもち，意欲的に調べようとしている。

②我が国の政治の働きと国民生活との関わりを考えようとしている。

○社会的な思考・判断・表現

①子育て支援事業など，地方公共団体の政治の働きについて，学習問題や予想，学習計画を考え表現している。

②地方公共団体が市民の願いを取り入れながら国と協力していること，政治は国民生活の安定と向上を図るために重要な働きをしていることについて考え，適切に表現している。

○観察・資料活用の技能

①子育て支援事業など，地方公共団体の政治の働きについて，子育て支援施設や市議会などを見学したり，各種資料を活用したりして，必要な情報を集め，読み取っている。

②調べたことをノートや作品などにまとめている。

○社会的事象についての知識・理解

①国民生活には地方公共団体や国の政治が反映していることを理解している。

②政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解している。

5　指導計画（８時間扱い　本時６時間目）

時	おもな学習活動	指導上の留意点
1	○児童センターの見学 ・写真や画像から子育て支援センターの様子を知り，幼い子供をもつ親の願いについて話し合う。	・資料を活用して，児童の興味・関心を高める。
2	○みんなの願いと児童センター ・子供支援施設について疑問に思うことについて話し合い，学習問題を作る。	・浅水ふれあいセンターのような住民のための施設が，なぜ無料で利用できるのかという疑問から学習問題につなげる。
3	○あすぱるの活動 ・写真資料やあすぱる所長の話を読み取り，どのような活動をしているのかを調べる。	・教科書に取り上げられている「あすぱる」についての資料に加えて，浅水ふれあいセンターを利用した経験を想起させる。
4	○市役所の働き ・市役所を見学したり，市役所の人の話を聞いたりして，市役所の働きについて調べる。	・計画書や予算案を作るのは市役所の仕事，それらを決定するのは市議会の仕事であることを理解させ，次時の学習につなげる。
5	○市議会の働き ・資料を活用して市議会の仕事について調べる。	・資料を活用して，市民，市役所，市議会，国会や関係省庁の関係を捉えさせる。

6 本時	**〇税金の働き①＜租税教室＞** **・税金の種類や使われ方についての話を聞き，税金の役割について考える。**	**・佐沼税務署の方をゲストティーチャーに迎えて，専門の立場から指導していただくことにより，税金が自分たちの生活を支えるために重要な役割を果たしていることに気付かせる。**
7	〇税金の働き② ・子育て支援センターを建設，運営するための費用がどこから出ているのか考える。	・前時に学習したことを生かし，公共施設の建設や運営にどのくらいの金額がかかっているのか考えさせる。
8	〇まとめる ・政治の働きについて，分かったことや考えたことをまとめる。	・分かったことや考えたことを自分の言葉で表現させる。

6　本時の学習

（1）本時のねらい

税金の種類や使われ方を知り，税金が自分の生活に重要な役割を果たしていることを理解する。

（2）授業の流れ

段階	学　習　活　動	学　習　の　様　子
つかむ 3分	1　本時の学習課題を確認する。 自分たちの生活と税金の関わりを考えよう。 2　佐沼税務署からのゲストティーチャーを紹介する。	
広げる 35分	3　税金がどんなふうに使われているか考える。 〇知っている税金の名前を挙げる。 〇自分たちに関係のある税金は何か考える。 〇その税金を全て集めるといくらになるか予想する。 〇１億円が５７万個分になることを計算し，１億円のレプリカを持って，その重さを体験する。 4　学校と税金の関わりを考える。 〇毎日使っている教科書が無償なのは税金の働きによることを知る。	・税金の種類や，「地方税」「国税」について知る。 ・消費税の税率について確認する。 ・国の税収が５７兆円であることを知る。 ・教科書の後ろに書かれている自分たちへのメッセージを読む。

	○税金がなければ，学校で勉強するのに，どれだけお金がかかるか予想する。	・小学校では１か月に７万円かかり，その後も増加していくことを知る。
	5　身の回りの物と税金との関わりについて考える。 ○いろいろな施設を，税金が使われている物と使われていない物に類別する。	・写真の建物がどちらに該当するか，ペアで考え，黒板上に類別する。
	6　ＤＶＤ「マリンとヤマトの不思議な日曜日」を視聴し，税金の大切さについて考える。 ○税金がなくなったら，自分たちの暮らしがどうなってしまうか考える。	・火事になっても，消火に多額のお金がかかってしまう。 ・街がごみだらけになってしまう。 ・道路や橋を渡るのにお金を払わなければならなくなってしまう。
まとめる 7分	7　国民の義務である税金の必要性について理解する。 ○税金を払うことが憲法で定められていることや，みんなのために使われていることについて確認する。	 ・税金は，一人のお金ではできないことを実現するもの。 ・自分も誰かの税金で支えられている。 **【評価】** **税金には自分たちの生活を支える大切な役割があることを理解することができたか。**

８児童の感想

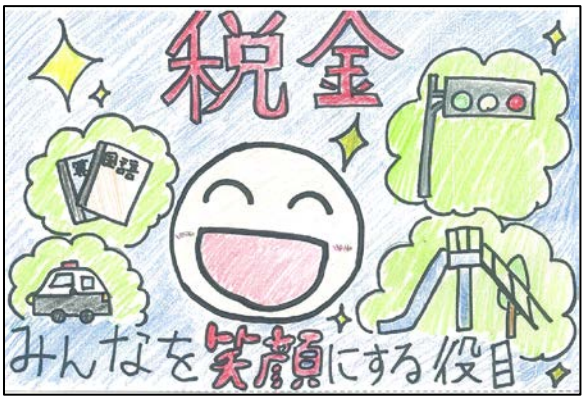
・税金が何に使われているのかがよく分かりました。もし税金がなかったら，私たちの生活が大変になると思いました。
・税金には，消費税・市県民税・所得税などいろいろな税があり，その税の使われ方にそれぞれ意味があることが分かりました。
・税金が使われているものとそうでないものが分かりました。教科書や学校の物も税金が使われていました。
・１１月に標語を作った時は，はっきりした意味が分からなかったけれど，今日の勉強で，税金が大事なものだとわかりました。

９　税金に関する作品応募（クラス全員）

１１月　第５回「税に関する標語」入賞作品

優秀賞　「考えよう　くらしをささえる消費税」
佳　作　「増税でも　ぼくのこづかい変化なし」

１月　税に関する絵はがきコンクール



女性部会長賞作品

他の応募作品